

～調査結果から～

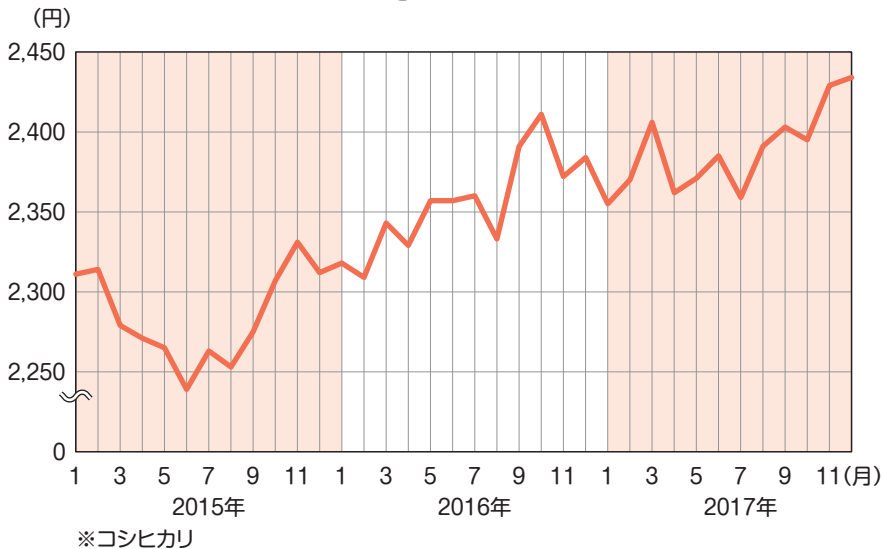
小売価格の推移（東京都区部）

うるち米

うるち米の価格の推移をみると、2015年の夏から上昇傾向が続いています。2017年12月には2,434円と、高値になっています。



うるち米（5kg袋入り）の価格の推移



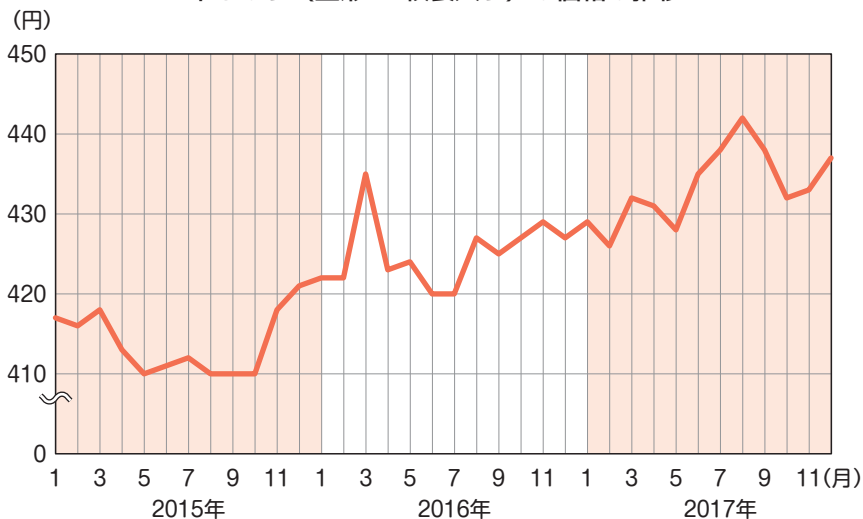
小売価格の推移（東京都区部）

干しのり

干しのりの価格の推移を見てみると、2015年の秋から上昇傾向が続いています。最も高値だったのは2017年8月で、442円でした。



干しのり（全形10枚袋入り）の価格の推移



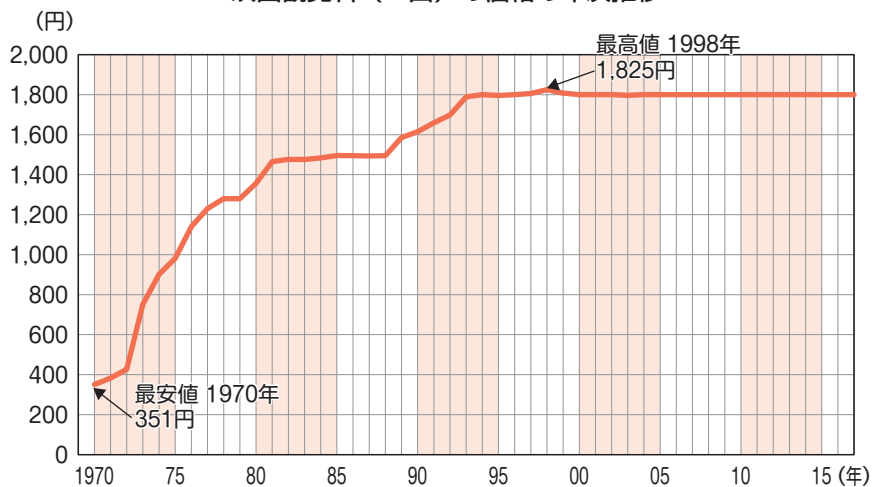
小売価格の年次推移（東京都区部）

映画観覧料

映画観覧料の価格の長期的な推移を見てみると、調査を開始した1970年当時は351円でした。その後は上昇傾向が続いていましたが、近年は1,800円で横ばいとなっています。



映画観覧料（1回）の価格の年次推移

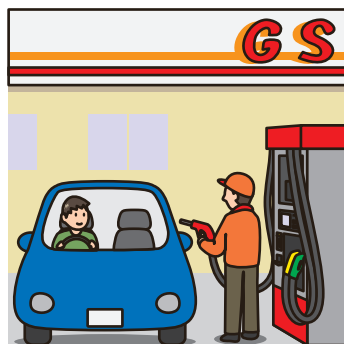


※2015年1月より調査員が調査する品目から総務省が調査する品目に調査区分が変更されています。

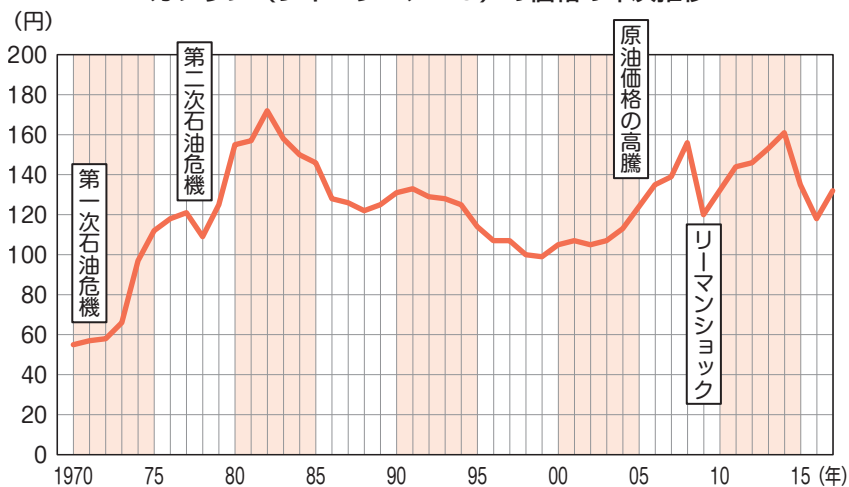
小売価格の年次推移（東京都区部）

ガソリン

ガソリンの価格の長期的な推移を見てみると、国外も含めた様々な社会情勢等により、価格が大きく上昇、下落していることがわかります。



ガソリン（レギュラー、1ℓ）の価格の年次推移



都道府県別の物価水準

2016年平均消費者物価地域差指数（全国平均=100）の「総合」を都道府県別に見ると、東京都が104.4と最も高く、次いで神奈川県（104.3）、埼玉県（101.5）、京都府及び兵庫県（共に100.8）などとなっています。

一方、最も低いのは群馬県（95.9）で、次いで宮崎県及び鹿児島県（共に96.1）、奈良県（96.6）、岐阜県及び佐賀県（共に96.8）などとなっています。

最も高い東京都は最も低い群馬県に比べて、8.9%高くなっています。

消費者物価地域差指数（総合）（47都道府県）（全国平均=100）

